

# 公共政策プログラム インフラ政策コース

## コースの目的

インフラ政策コースは、人の生活や産業を質と量の両面で支え、国土の資源と環境を適切に利用し良好に保全するために、社会に不可欠な基礎となっているハード面・ソフト面の社会基盤(インフラストラクチャー:以下、インフラと略す)の諸様相を文理両面から学際的に理解した上で、インフラの充実と進化を積極的に推進する、産官各分野における将来の指導的テクノクラートとなるために必要な知見と見識・素養を養成することを目的としています。

## ディプロマ・ポリシー

インフラ政策コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです:

- ① インフラの諸様相に関わる専門的な知識の習得と見識の養成
- ② インフラをとりまく種々の他分野について広範な知識を習得し強い俯瞰力を身につけること
- ③ インフラに関わる諸問題について自己表現・対話・議論する能力、さらに自らを深め高める自己啓発能力
- ④ インフラに関わる諸課題の中から、的確に研究課題をコンフィギュレートし、企画化・プログラム化・実行し、その成果を論理的に適切に取りまとめ、さらに社会に発信する能力
- ⑤ 留学生も交えた国際的なグループの中で多様な意見を聞きながら自らの意見を述べ、更にそれらを的確にとりまとめるマネジメント能力、リーダーシップ、諸事を実行する推進力

## カリキュラム・ポリシー

### 【必修科目】

「政策論文演習」では、論文作成または特定の課題についての研究成果のまとめに向けて、インフラに関わる諸課題の中から、的確に研究課題をコンフィギュレートし、企画化・プログラム化・実行し、その成果を論理的に適切に取りまとめ、さらに社会に発信する能力を養成します。

### 【コース指定科目】

コース指定選択科目としては、インフラ政策コースの基幹科目として国土・都市・交通に関わるインフラに関わる現代的知識を習得するために必要な5科目の選択必修科目を開講

しています。

また本コースの教育カリキュラム構築上の基本方針は、公共政策プログラム共通の教育方針の他に、独自の方針として以下の4点があげられます。

- ① 国際業務・海外業務の重要性に鑑み、留学生との協働活動や対話、及び英語による学習を重視すること
- ② インフラの特性に基づき、現地・現物・現人主義を徹底すること。
- ③ 俯瞰力(時間的、空間的、分野的)を身につけるよう努力すること。
- ④ 研究に当たっては、本当に役に立つ研究になっているか？ 本当にユニークで面白い内容の研究になっているか？を常に自省すべきこと。

### **【研究指導】**

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

## **アドミッション・ポリシー**

### 求める学生像

大学等においてインフラに関する相応の教育を受けたうえで、政策立案・計画策定・調査分析・建設・管理・研究開発などのいずれかについて、インフラに関わる一定程度の業務経験を有し、将来、テクノクラートとして嘱望される若手・中堅の人材。加えて、国際業務・海外業務への関心が強いことが望まれます。

入学前には、インフラに関する一定程度の基礎知識、英語に関する会話及び読解・作文能力(できればさらに中国語など他の外国語に関する能力・関心)、現代科学・世界史・世界地理・世界の文学に関する基礎知識あるいは関心を持つことが望ましいです。

### 審査方法及び審査基準

#### **【第1次審査】**

出願書類に基づく審査を行います。

#### **【第2次審査】**

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では対話力と自己アピール力、瞬発的思考力と冷静な対応力などを審査基準として選考します。

カリキュラムマップ：公共政策プログラムインフラ政策コース

ディプロマポリシー①

ディプロマポリシー②

ディプロマポリシー③

ディプロマポリシー④

ディプロマポリシー⑤

区分	科目番号	科目名	①インフラの諸様相に関わる専門的な知識の習得と見識の養成	②インフラをとりまく種々の他分野について広範な知識を習得し強い・俯瞰力を身につけること	③インフラに関わる諸問題について自己表現・対話・議論する能力、さらに自らを高め高める自己啓発能力	④インフラに関わる諸課題の中から、的確に研究課題をコンフィギュレートし、企画化・プログラム化・実行し、その成果を論理的に適切に取りまとめ、さらに社会に発信する能力	⑤留学生も交えたインターナショナルなグループの中で多様な意見を聞きながら自らの意見を述べ、更にそれらを的確にとりまとめるマネジメント能力、リーダーシップ、諸事を実行する推進力
区分I 必修科目	PPP400J	政策論文演習				○	
区分II 選択必修科目	ECO100J	ミクロ経済学 I		○			
	ECO105J	マクロ経済学		○			
	ECO270J	計量経済学		○			
	ECO271J	費用便益分析		○			
	GOV210J	政策過程論		○			
	GOV252J	行政の改革・革新と政策評価		○			
	GEN5020E	The World and the SDGs		○			
	GEN503J	GRIPS Forum I		○			
	GEN504J	GRIPS Forum II		○			
	IPRI02J	民法の基礎		○			
	MOR103J	データサイエンス基礎		○			
	MOR110J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I		○			
	MOR200J	計画と評価の数理		○			
	MOR202J	実践データサイエンス		○			
	MOR210J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II		○			
	PAD310J	EBPM概論		○			
REG120J	行政法の基礎		○				
(コース 指定科目)	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	○				○
	DEV204J	社会インフラと国土の政策論	○				
	DEV2080E	Infrastructure Systems Management	○				○
	DEV2100E	Transportation Planning and Policy	○		○		○
	DEV2500E	Nature Managemnet and Infrastructure	○		○		○
	DEV214J	景観・デザイン論	○				
	DEV215J	都市学の理論と実践	○				
	DEV216J	社会基盤整備のPPP/PFI	○				
	DEV218J	水圏国土学	○				
	DRM205J	気象と災害		○			
区分III 選択科目	DRM301J	災害対策各論 II		○			
	ECO200J	ミクロ経済学 II		○			
	ECO202J	政府と市場		○			
	ECO260J	経済政策の理論と展開		○			
	ECO290J	ゲーム理論		○			
	ECO310J	日本経済の現状と課題		○			
	ECO333J	都市政策の空間分析		○			
	ECO344J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で		○			
	ECO362J	構造変化の下での財政金融政策		○			
	ECO375J	経済シミュレーション分析		○			
	GOV211J	日本政治と理論分析		○			
	GOV350J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応		○			
	GOV610J	政策過程論特別演習		○			
	PAD204J	中小企業経営と地域経済		○			
	PAD311J	都市政策演習		○			
	MOR301J	数理モデル分析演習		○			
	REG231J	地方自治と行政学		○			
		上記以外の授業科目		○			
区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目					